

第2回 西区まちづくり懇話会・エリア別ワークショップ議事録

1.開催概要

<日時> 令和 7 年(2025 年)8 月18 日(月)13時30分～15時30分

<場所> 西部公民館 大ホール

<形式> エリア・校区別のワークショップ

<テーマ> まちのポスターを作ろう！

<目的> 地域の方との対話や交流を通じて、若者の視点から「住みたいまち」「まちの魅力」等を PR するポスターを作成することで、若者の自治会や地域活動への関心を育み、理解を深める。

<進行> 水野 直樹氏(ファシリテーター)

<参加者> 74 名

・西区まちづくり懇話会委員 10 名

川副会長、安部副会長、岡委員、久保委員、上村委員、松島委員、清川委員、吉永委員、田尻委員、内村委員

・各校区・地区の地域団体役員等 22 名

・エリア内高校生 9 名（熊本県立熊本西高等学校・熊本市立千原台高等学校）

・エリア内中学生 13 名（河内中・芳野中・城西中・井芹中・花陵中・三和中）

・各地域担当職員 7 名（西部・河内・花園まちづくりセンター）

・地域おこし協力隊 2 名

・事務局 11 名

西区長、区民部長、保健福祉部長、総務企画課長、総務企画課副課長、
総務企画課職員(4 名)、西区管内まちづくりセンター所長(2 名)

<タイムスケジュール>

13:30～ 開会・区長挨拶

13:35～ ワークショップについての説明

13:40～ ワークショップ開始

まちの良いところ紹介・インタビュー

14:00～ キャッチコピー作成

14:20～ ポスター作成

15:20～ 各班のポスター発表

15:30～ 講評・閉会

2.ワークショップ内容

<グループワーク>

「まちの良いところ紹介・インタビュー」

- ・自己紹介
- ・地域の方から学生に「まちの良いところ」紹介
地域の方から、自分の地域の魅力や昔話などを 5 分ずつ語る。
- ・学生から地域の方へインタビュー
学生たちからインタビューシートを使って、地域の方にもっと聞きたい内容について、質問を投げかける。
- ・まちのキャッチコピー・PR ポスター作成

<ワークショップの様子>



◆各エリア(班)の発表内容

<金峰山系エリア>

①河内校区



【作成グループのコメント】

河内と言えば“夕陽”

②芳野校区



【作成グループのコメント】

テーマ「人のつながり」、「自然の豊かさ」を意識して、人がつながっている構図と芳野の魅力を詰め込みました。

<有明海沿岸エリア>

①小島校区



【作成グループのコメント】

小島の自然と歴史を次の世代に引き継いでもらいたいです。

②中島校区



【作成グループのコメント】

熊本港から見る夕日はきれいで、手を伸ばせば、夕日に触れることができそうな気持ちになる住み良い街です。
多くの皆様に来ていただき、住んでいただきたい街です。
特産物を雲で表しました。

③松尾地区



【作成グループのコメント】

同じ市民同士長時間話し合い、
若者が知らないことを知ってもらおうと
老若男女構わず楽しく話し合いました。
松尾のことを少しでも知ってもらえると
嬉しいです。

<上熊本周辺エリア>

①花園校区



【作成グループのコメント】

中学生に向けて製作しました。
花園校区は歴史や自然を守ったり、活かすイベントや活動を行っています。
このことを若い人たちに繋げるためにイラストで表現しました。

②池田校区



【作成グループのコメント】

JR 上熊本駅は、昔は「池田駅」でした。夏目漱石が来熊して、130 年目を迎える歴史あるまちです。
池田校区では、赤ちゃんからお年寄りまで、住んでいる方へ手厚いサポートを行っている、人に優しいまちです。
ぜひ、皆さんも池田校区へ来て下さい。

③城西校区



【作成グループのコメント】

城西校区は、地域の人々の絆がまだまだ残っている地域です。
季節ごとの伝統行事もたくさんあり、子どもからお年寄りまでふれあいにあふれています。
いきたいがあふれているまちです。

<熊本駅周辺エリア>

①春日、古町校区



【作成グループのコメント】

町と人と自然がつながって進化している街。

春日、古町校区は協力しながらワクワクするようなイベントを開催しています。

人がたくさん集まる町です。

②白坪校区



【作成グループのコメント】

今までは白坪校区についてあまり知らなかったけど、今回のポスター作りを通して深く知れたのでよかったです。

また、白坪の歴史がおもしろかったのもっと知りたいと思いました。

<西部エリア>

①城山校区



【作成グループのコメント】

豊かな自然と歴史に育まれ、環境に取り組む街づくり！！

三和地域をあげて頑張っています。

<講 評>

(川副会長)

短い時間の中で、非常に良いディスカッションができたと思う。特に、最初のインタビューでは、生徒の皆様がご年配の方のご意見を聞くという場面を目の当たりにし、日本の将来を見ているような気持ちになった。昭和の時代は、子どもの数が多く、親世代が少ない構図だったが、今は逆転している。だからこそ、こうした形でご年配の方の意見を聞きながら子どもたちが育っていくことは、非常に安心できる状況だと感じ、こうしたつながりは今後も大切にしていきたいと感じた。

時間内に間に合うか心配していたが、皆で意見を出し合いながらキャッチコピーやポスターを作成し、非常に良いものができたと思う。タイムキーパーのような役割がいれば、もう少しスムーズに進行できたかもしれないため、来年以降、同様のイベントが開催される際には、そういった工夫を取り入れると良いと思う。

今回はポスター作成という形だったが、対話が充実するように非常に多くの要素が盛り込まれており、このプロセスの中で交わされた言葉や対話が、皆の中で今後役立っていくのではないかなと思う。

ワークショップに参加された皆様、運営に携わった皆様、本当にお疲れ様でした。心より感謝を申し上げます。

<閉 会>